

## BOCCIA BEYOND CUP オリジナル規則

### 第1条 原則

本規則に定める各項及びそれ以外は、「ボッチャフレンドリーマッチ競技規則」を準用する。

### 第2条 用具

#### 2-1 ボール

(1) ボールは、赤色ボール6個、青色ボール6個、白色の目標球（以下「ジャックボール」という）1個で構成される。

(2) 大会では、選手が用意したボールを使用することができる。

#### 2-2 投球補助具（ランプ）

投球補助具（以下「ランプ」という）は、選手が準備したものを使用することができる。

### 第3条 チーム

#### 3-1 チーム編成

(1) ボッチャの試合は、すべて性別、年齢、国籍、障がい、経験等の区別なく行われる。

(2) 一般参加チームの構成は3人から6人1組とする。ただし、アシスタントはチーム人数に含まれない。

(3) アシスタントは、選手1人につき1人までとする。

(4) 東京都在住・在学・在勤者がチームの半数以上を占めることとする。

### 第4条 競技方法

#### 4-1 試合形式

試合は、80チームにより実施する。組合せは主催者が決定する。

1日目：予選リーグ（1グループ4チームの総当たり。20グループで実施）

2日目：各グループ首位20チームによる決勝トーナメント

予選リーグの順位は、BISFed 競技マニュアルに則り、①勝ち数、②直接対決、③得失点差、④総得点、⑤総勝ちエンド数で判断する。

#### 4-2 競技形式

(1) ボールは、赤色ボール6個、青色ボール6個、ジャックボール1個で構成される。

(2) ゲームは、1試合2エンドとする。

(3) 先攻は赤色ボール、後攻は青色ボールを使用するものとする。

(4) スローインボックスに入れる選手は1人までとする。ただし、アシスタントが必要な場合等、例外を除くものとする。

(5) 決勝以外は7m×6mのミニコート、決勝は公式コートでの運用とする。

#### 4-3 勝敗

(1) 各エンドの得点を加算し、合計点がより多いチームの勝利とする。同点の場合は、コート中央のターゲットボックス中央にジャックボールを配置し、1球ずつ投球して、目標球により近いボールを投球した方を勝者とする（ファイナルショット制度）

(2) 投球順序は、ファイナルショット制度前にジャンケンにより決められ、先に投球するチームのジャックボールが使用される。

(3) ファイナルショットは、必ず主将（キャプテン）となる選手が投球する。

#### 4-4 その他

(1) その他審判の指示に従って競技を行うこと。

#### 第5条 表彰

(1) 優勝チームには、令和8年3月7日（土曜日）・3月8日（日曜日）開催予定の一般社団法人日本ボッチャ協会主催「BOCCIA JAPAN CUP 2026」への出場権が与えられる。

※他の競技大会で、既に出場権を獲得した選手がいるチームが優勝した場合は、次点のチームに出場権が与えられる。詳細は、[「BOCCIA JAPAN CUP 2026 出場権について | 一般社団法人日本ボッチャ協会」](#) HP を参照。

(2) 1～3位までのチームにカップを授与する。